

9月号

ハニ養だより



青森県立八戸第二養護学校

令和8年8月27日

「おまつりに参加しました」 校長 西里 俊文

八戸の夏といえば、やはり「三社大祭」です。勇壮な山車の運行には県外からもたくさんの観光客が訪れ、中心街はお祭り期間中、大変な賑わいを見せます。

市役所前には毎年おまつり広場が設置され、屋台が軒を並べて祭りの風情をもり立ててくれます。さらに特設ステージでは、市民やアーティストによる楽しいイベントが盛りだくさんです。

今年はなんと、このおまつり広場のステージで、本校中学部3年生8名が書道パフォーマンスを披露しました。

今回揮毫（きごう）したのは、南部分で「お祭りはいいなっす」の言葉です。

生徒たちは1文字ずつ担当し、リレー方式で書き上げました。当日は炎天下でステージ上も非常に暑かったのですが、1m×1mのロール紙に向かい、大きな筆を使って体全体で力強く表現しました。

ステージ前には、応援に駆けつけてくれた仲間や福祉施設の方、そして多くの市民の皆様がお見えになり、温かい声援を送ってくださいました。

生徒たちは大舞台を心から楽しみ、見事にやり遂げた達成感に満ちた、素晴らしい表情を見せてくれました。

また、PTA主催による「山車の引き子体験」も行われました。

新井田附祭振興会のご協力の下、市役所前のスタート地点から出発し、大勢のお客様が見守る沿道を「やれやれ」のかけ声とともに、最後まで引き通すことができました。

2時間ほどの道のりでしたが、仲間と一緒にお互いのペースを大切にしながら、沿道の温かい声援をうけて、祭りの熱気を肌で楽しむことができました。

地域の伝統行事にこのように参加することは、地域社会の一員としての仲間意識や、「また来年も楽しい祭りに参加したい」という前向きな意欲につながる貴重な経験になったと感じております。

